

鹿児島県地域医療の現状と展望

- ・ 救急医療を中心として ・

鹿児島県医師会常任理事

上津原 甲一

(平成19年4月1日現在)

郡市医師会分布図



※出水郡医師会立阿久根市民病院
一般244床 (ICU 4床)

薩摩郡医師会病院
一般150床

※川内市医師会立市民病院
一般224床 (ICU 6床)

いちき串木野市医師会立
脳神経外科センター
一般40床・療養24床

※鹿児島市医師会病院
一般255床 (ICU 8床)

大島郡医師会病院
一般33床・療養155床

出水郡医師会立第二病院
療養161床 (医療109床・介護52床)

※霧島市立医師会医療センター
一般250床・感染4床

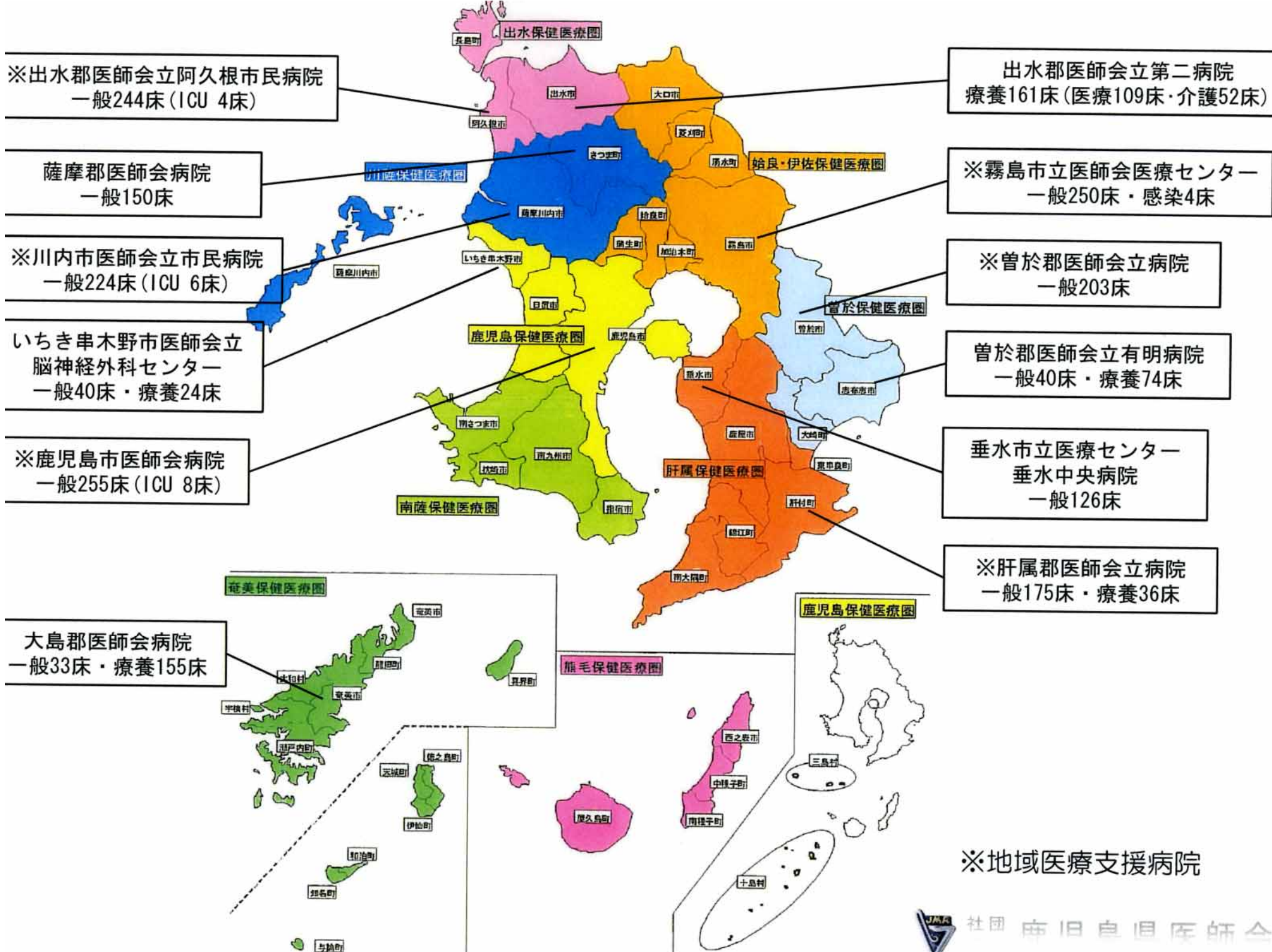
※曾於郡医師会立病院
一般203床

曾於郡医師会立有明病院
一般40床・療養74床

垂水市立医療センター
垂水中央病院
一般126床

※肝属郡医師会立病院
一般175床・療養36床

※地域医療支援病院



郡市医師会	会員数	(%)
鹿児島市	1,299	33.3
川内市	138	3.5
鹿屋市	132	3.4
枕崎市	55	1.4
いちき串木野市	53	1.4
大口伊佐	54	1.4
指宿	89	2.3
南薩	120	3.1
日置市	82	2.1
薩摩郡	66	1.7
出水郡	96	2.5
始良郡	312	8.0
曾於郡	91	2.3
肝属郡	45	1.1
肝属東部	35	0.9
熊毛地区	37	0.9
大島郡	97	2.5
鹿児島大学医学部	1,104	28.1
合計	3,898	

鹿児島県医師会 会員構成表

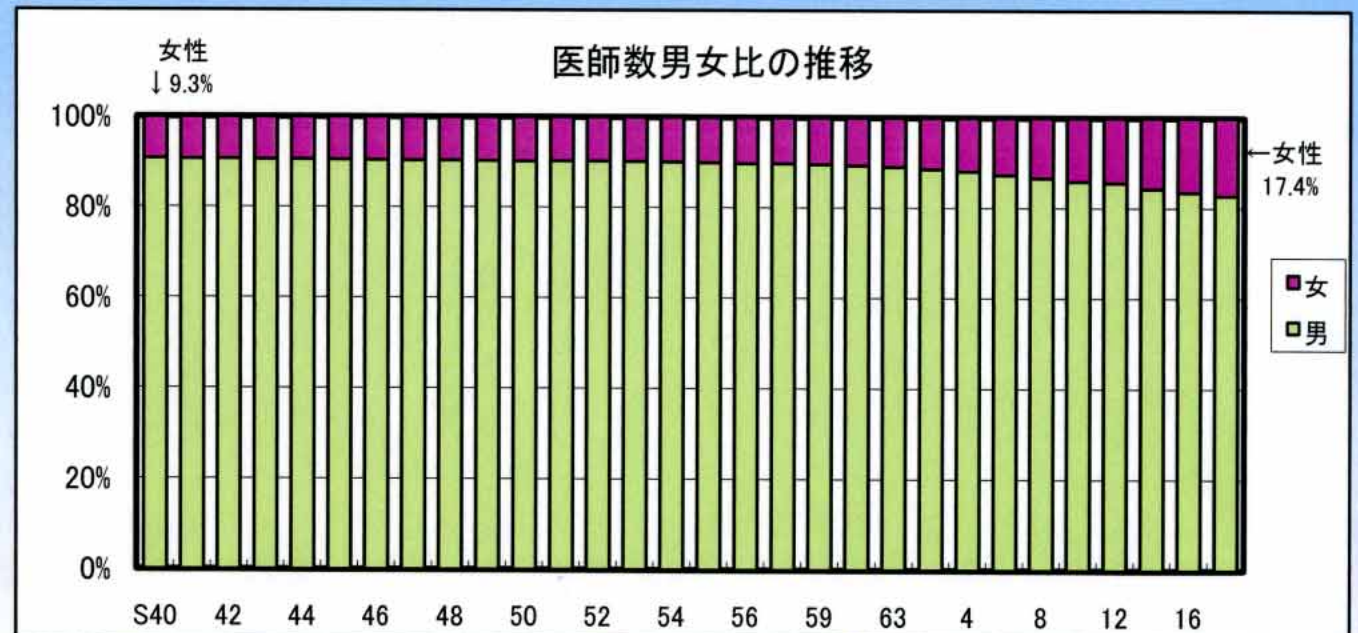
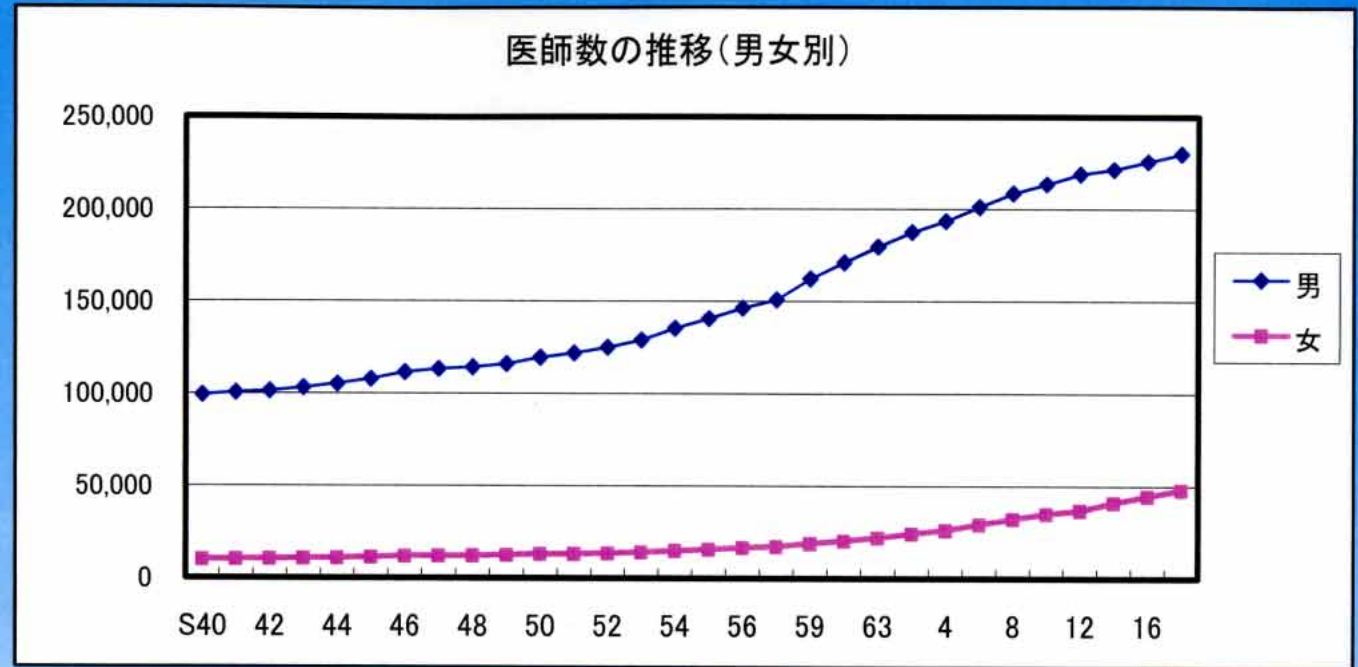
開業医	勤務医
1,241	2,394

(平成20年5月1日現在)



医師数の年次推移(男女別)

	男	女
昭和40年	99,241	10,128
41	100,453	10,306
42	101,234	10,423
43	102,955	10,675
44	105,033	10,941
45	107,671	11,319
46	111,345	11,833
47	113,217	12,085
48	114,160	12,167
49	115,975	12,480
50	119,504	12,975
51	121,783	13,151
52	124,884	13,432
53	128,936	14,048
54	135,306	14,923
55	140,576	15,659
56	146,301	16,581
57	150,747	17,205
59	162,247	18,854
61	171,015	20,331
63	179,532	22,126
平成2年	187,538	24,259
4	193,589	26,115
6	201,244	29,275
8	208,649	32,259
10	213,603	35,008
12	218,940	36,852
14	221,548	41,139
16	225,743	44,628
18	229,998	47,929



市医師会別	総数	A	B	C
鹿児島市	1,333	517	777	39
川内市	139	63	76	0
鹿屋市	131	63	68	0
枕崎市	55	18	37	0
いちき串木野市	54	27	27	0
大口・伊佐	52	22	30	0
指宿	88	40	48	0
南薩	118	59	59	0
日置市	84	37	47	0
薩摩郡	66	31	35	0
出水郡	97	52	45	0
始良郡	315	157	158	0
曾於郡	87	45	42	0
肝属郡	44	18	26	0
肝属東部	36	23	13	0
熊毛地区	36	13	23	0
大島郡	99	49	50	0
鹿児島大学医学部	1,078	0	1,036	42
合計	3,912	1,234	2,597	81

鹿児島県医師会 会員構成表

(平成20年11月1日現在)

A=開業医、
B・C=勤務医等

鹿児島県医師会員の男女比

(平成20年11月1日現在)

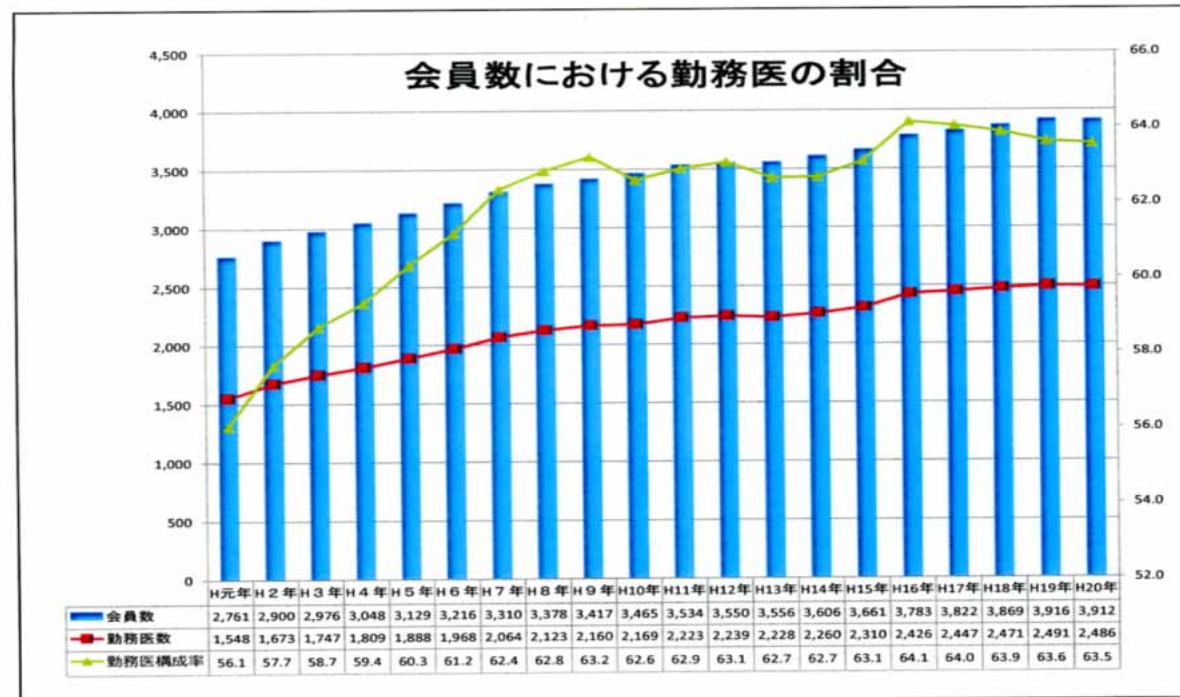
男性	女性
3,375 (86.3%)	537 (13.7%)

鹿児島県医師会会員

(平成20年11月1日現在)

全会員数 3,912名[平均年齢 51.35歳]

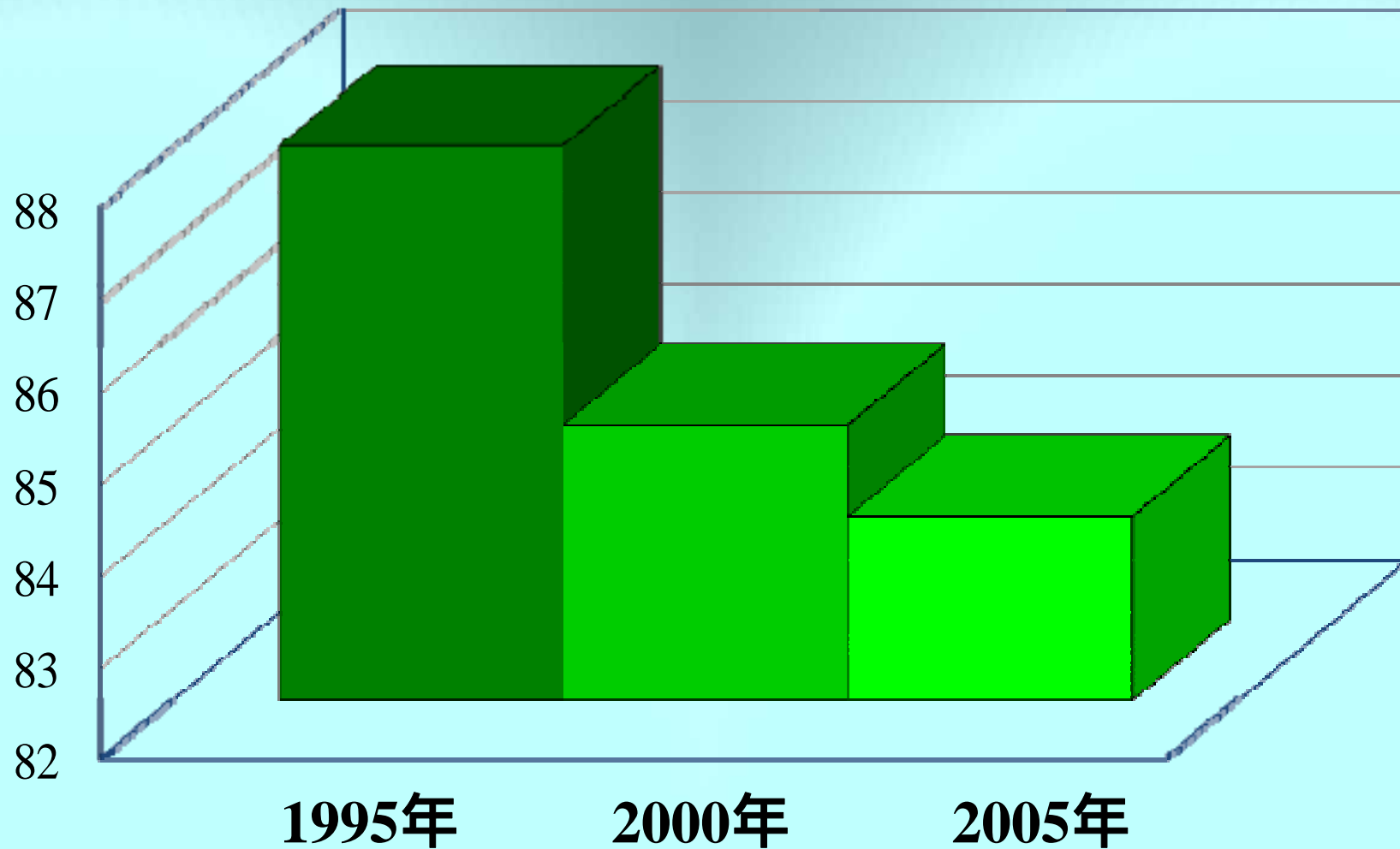
開業医	勤務医	その他
1,234 (31.5%)	2,486 (63.5%)	192 (5%)



鹿児島県の病院数と医師数

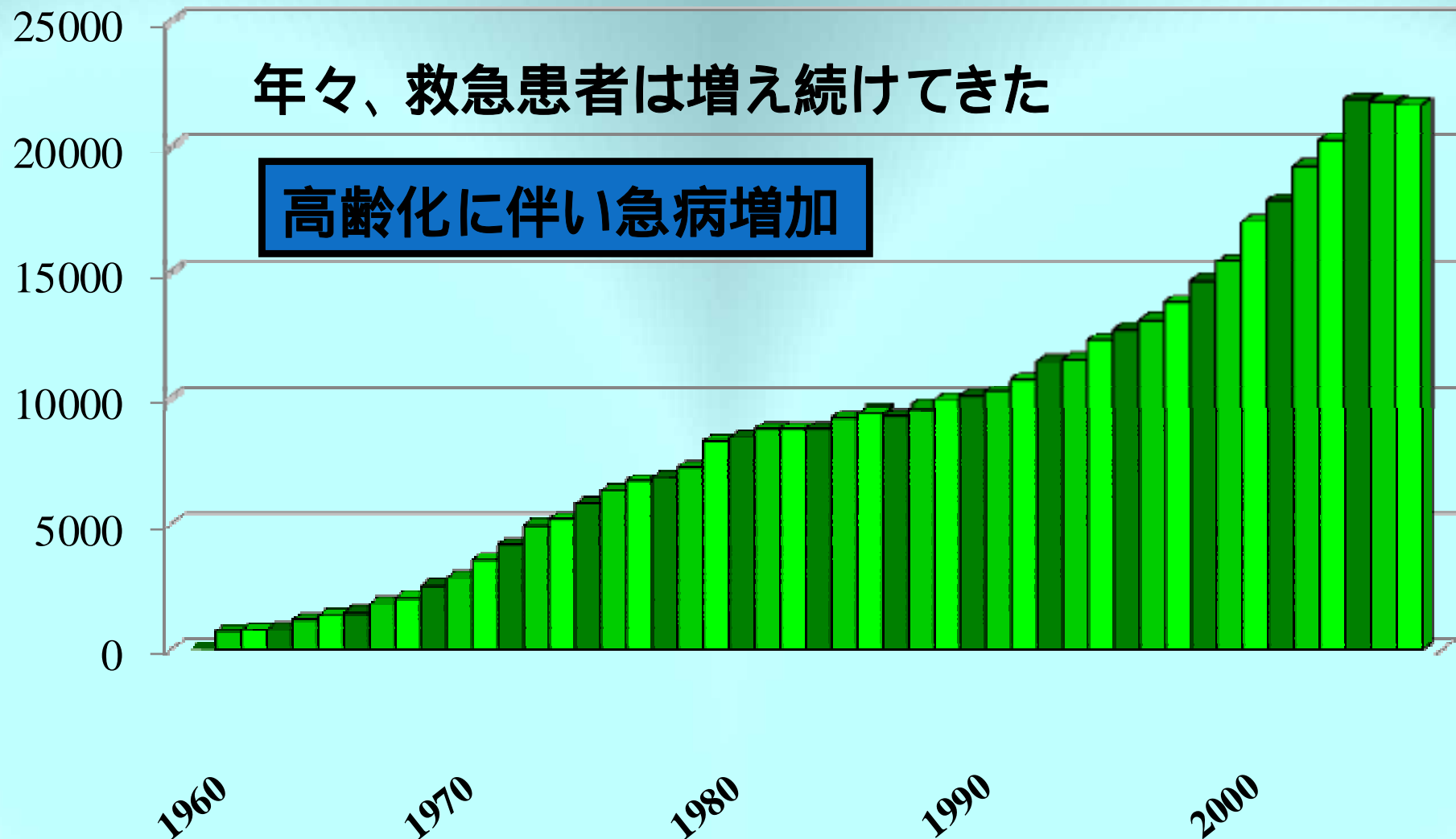
項目	単位	全国	鹿児島県	順位
病院数	対人口10万人	7.0	15.9	2
病床数(病院)	対人口10万人	1,273.1	2,035.9	2
医師数	対人口10万人	217.5	230.8	21

救急告示病院数(鹿児島県)



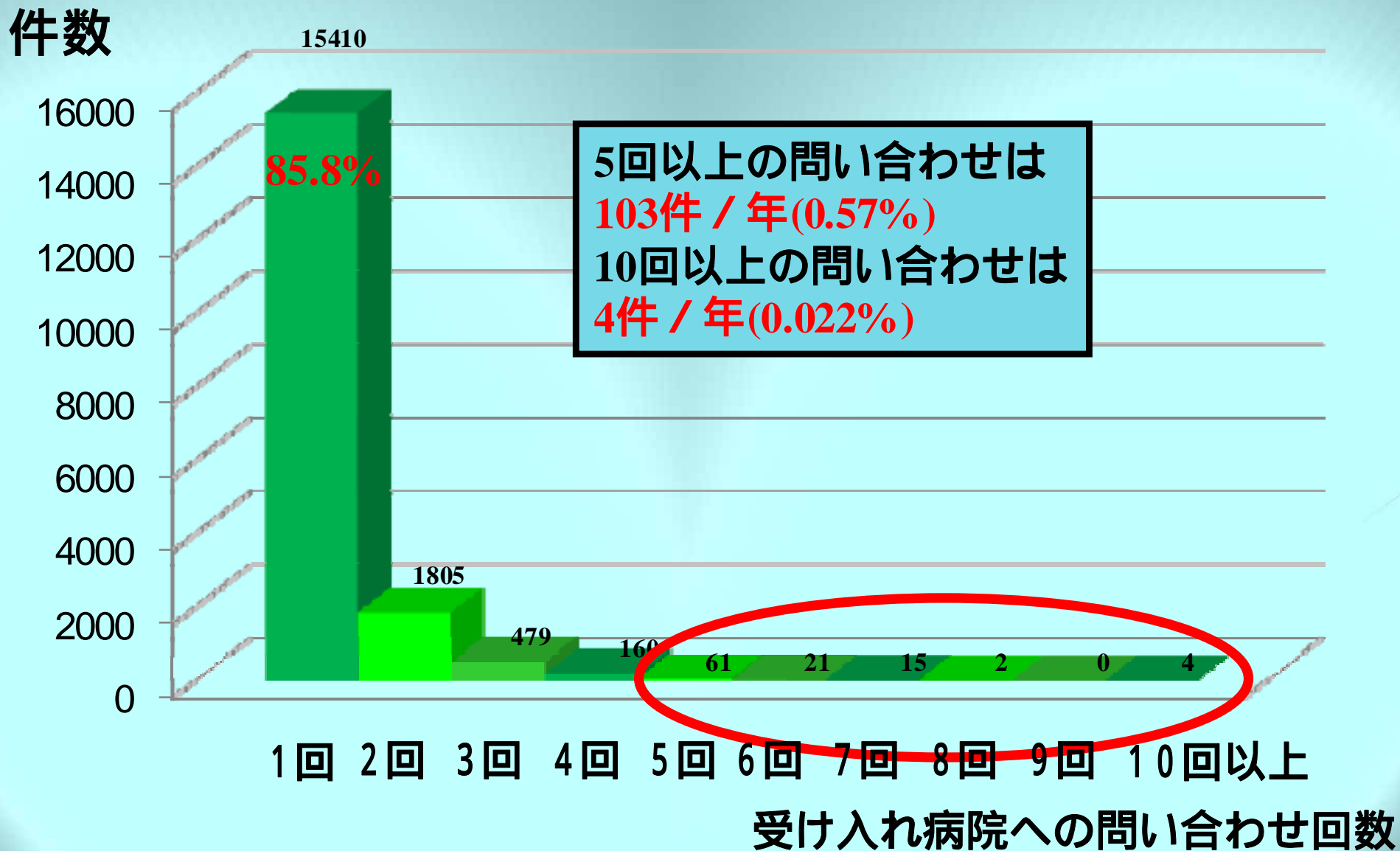
年別救急車出動件数

(鹿児島市消防局)



医療機関への問い合わせ回数別件数

(鹿児島市消防局 平成19年1月 12月)



救急医療の満足度

上位10都府県

下位10都府県

都道府県名	割合 (%)	都道府県名	割合 (%)
東京都	73	宮崎県	44
長野県	68	栃木県	44
愛知県	66	鹿児島県	44
神奈川県	62	埼玉県	43
佐賀県	62	宮城県	43
山梨県	61	茨城県	42
静岡県	61	福島県	41
富山県	60	石川県	41
大阪府	60	大分県	35
滋賀県	60	徳島県	33

鹿児島市救急医療上の問題提起

- 173万人の県民に対し、鹿児島の医療資源は鹿児島市に集中している。救命救急センターは鹿児島市立病院のみである。
- 今後、鹿児島における医療上の人的資源は減少する可能性がある。
- **鹿児島市**は今のままで大丈夫なのか？
あえて、いわゆる救急患者の『たらい回し』にスポットをあてる。

たらい回し報道

- 最近、救急患者のたらい回しが社会問題として再び注目されている。

- 2006. 8 分娩中の意識消失で19病院で転送拒否され32歳女性**死亡**(奈良県)
- 2006.11 拒食症の女性(16)、7病院拒否後にショックとなり**死亡**(大阪府)
- 2007. 2.25 食道静脈瘤破裂の男性(48)、16病院の受け入れ拒否で**死亡**(大阪府)
- 2007. 3.11 胸痛の男性(70)、21病院が受け入れ拒否し、**死亡**(大阪府)
- 2007. 6. 両足骨折の女性(80代)、14病院受け入れ拒否。
- 2007. 8.18 頭部外傷の女児(4)6病院で拒否(奈良県)
- 2007. 8.23 脳出血の男性(56)、受け入れ拒否15回で**死亡**(千葉県)
- 2007. 8.29 12病院16回の要請を余儀なくされ38歳妊婦死産(奈良県)
- 2007. 9. 5 救急搬送妊婦の2割、最初の病院で拒否(千葉県)
- 2007. 9. 5 16病院が拒否 = 昨年、30代妊婦が切迫流産に(千葉県)
- 2007. 9. 5 <救急搬送拒否>女性5件 11回拒否の妊婦も(札幌市)
- 2007. 9. 6 拒否、最多で16回、千葉市『1回以上』は45人(2006.1~7月)
- 2007. 9. 6 奈良・中和消防
2006年 救急搬送、拒否10回以上; 129件(1.47%) 1時間以上; 629件
2007年1月~8月 救急搬送、拒否10回以上; 127件(2.16%) 1時間以上; 524件
- 2007. 9 嘔吐の男性(68) 36病院が受け入れ拒否、2時間後に受け入れ可能に。(大阪府)
- 2007.12. 6 吐血の男性(66) 16病院が受け入れ拒否し、救急車内でCPAとなり、**死亡**(姫路市)
- 2008. 1. 2 交通事故男性(49)、府内5つの3次救急受け入れ拒否で**死亡**。現場では意識あり。
- 2008. 1. 4 体調不良の船員(45)、15病院に受け入れ拒否され、脳幹出血で**死亡**。搬送に2時間半(佐賀県)
- 2008. 2.25 12病院受け入れ拒否で中度意識障害の女性(93)**死亡**(春日部市)

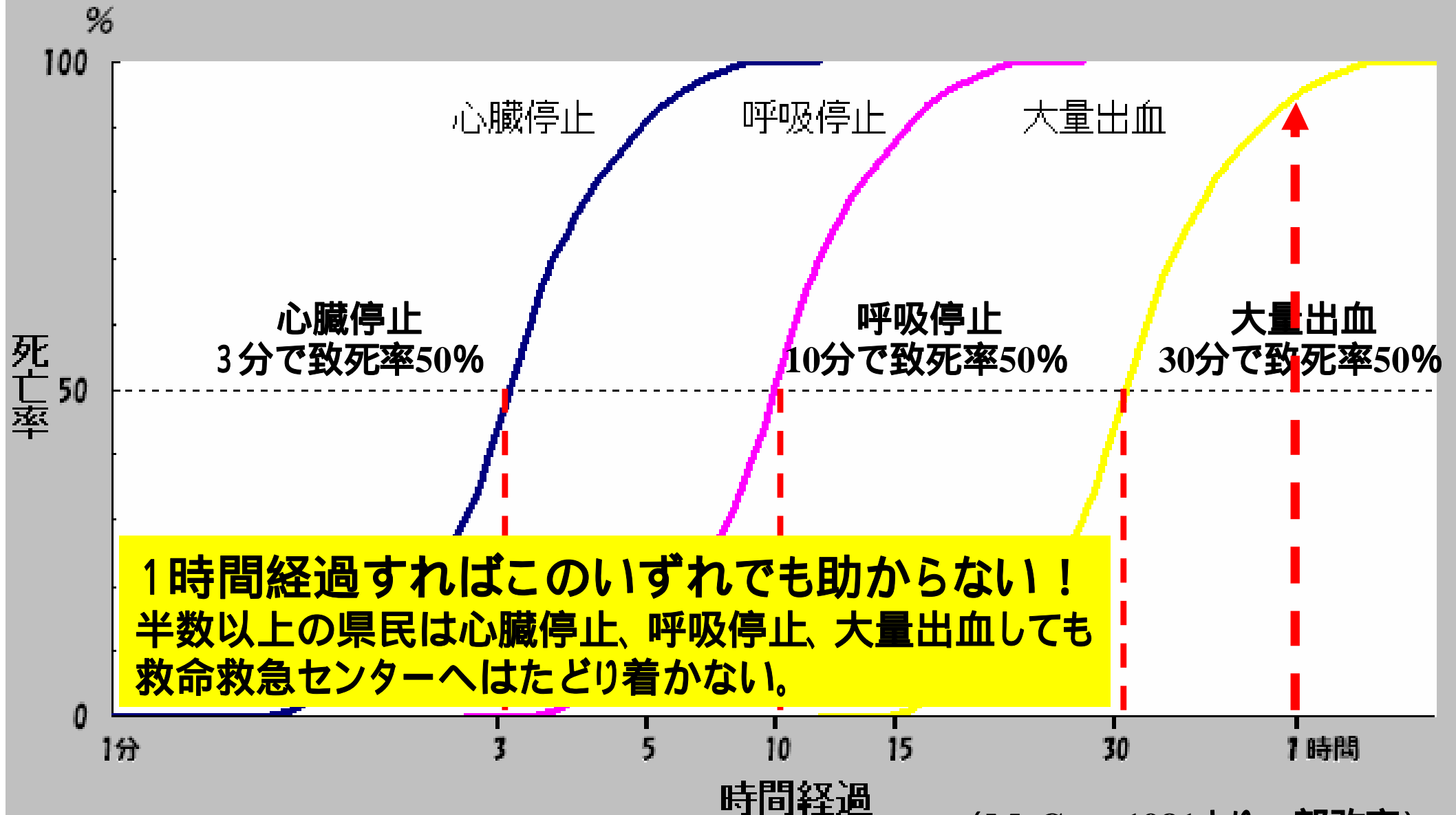
都道府県別受け入れ困難件数

11回以上の受入照会を要した件数

都道府県名	件数	都道府県名	件数
東京都	614	福島県	7
九州では、鹿児島と宮崎だけ！			6
大阪府	71	三重県	5
千葉県	66	広島県	4
奈良県	41	鹿児島県	3
神奈川県	32	山梨県	2
兵庫県	28	愛知県	1
宮城県	26	京都府	1
茨城県	14	和歌山県	1
栃木県	11	香川県	1
群馬県	10	宮崎県	1

救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査の結果について(総務省)

救急医療機関への搬送時間と致死率



(M. Cara 1981より一部改変)

救急患者搬送時間の都道府県別格差

重篤なけが人や急病人の救命救急センターへの搬送時間

上位10都府県

下位10都府県

都道府県名	搬送時間（分）	都道府県名	搬送時間（分）
東京都	17	三重県	79.6
大阪府	24.2	島根県	80.1
神奈川県	31	熊本県	81.9
愛知県	31.1	青森県	82.7
滋賀県	31.2	長崎県	86
埼玉県	34.5	秋田県	86.6
茨城県	37.5	高知県	86.7
岐阜県	38.7	鹿児島県	93.1
千葉県	38.7	和歌山県	96.3
福岡県	39.7	北海道	100.5

- **1時間以内**に救命救急センターに運べる
住民数が県民の半数以下なのは...

長崎県

青森県

秋田県

鹿児島県

の4県であった。

これらの地域格差の解消に、国全体で取り組むべきとの指摘もある。

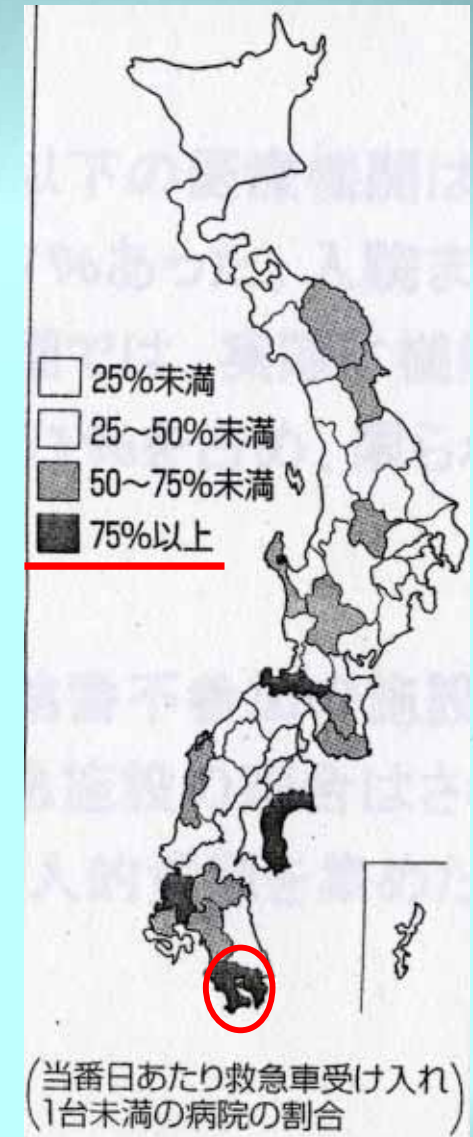
日本医大救急医チームによる分析 - (2005年度)

救急告示病院での救急車受け入れに関して『1日あたり1台未満』である割合が75%以上なのは、4県のみ。

京都府、高知県、福岡県、**鹿児島県**



実際に救急対応ができる施設に診療報酬や人的資源を集めた方が効果的！



深刻な救急医不足

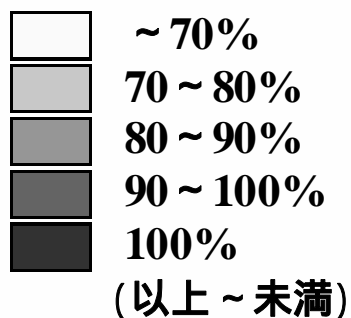
- 救急専門医 (H20.1.1)
全国; 2701名
鹿児島県; 20名
- 救急指導医 (H20.1.1)
全国; 456名
鹿児島県; 2名

救急医療をしっかりと行うには全国に救急専門医が
5000名(現状の2倍)は必要とされる。

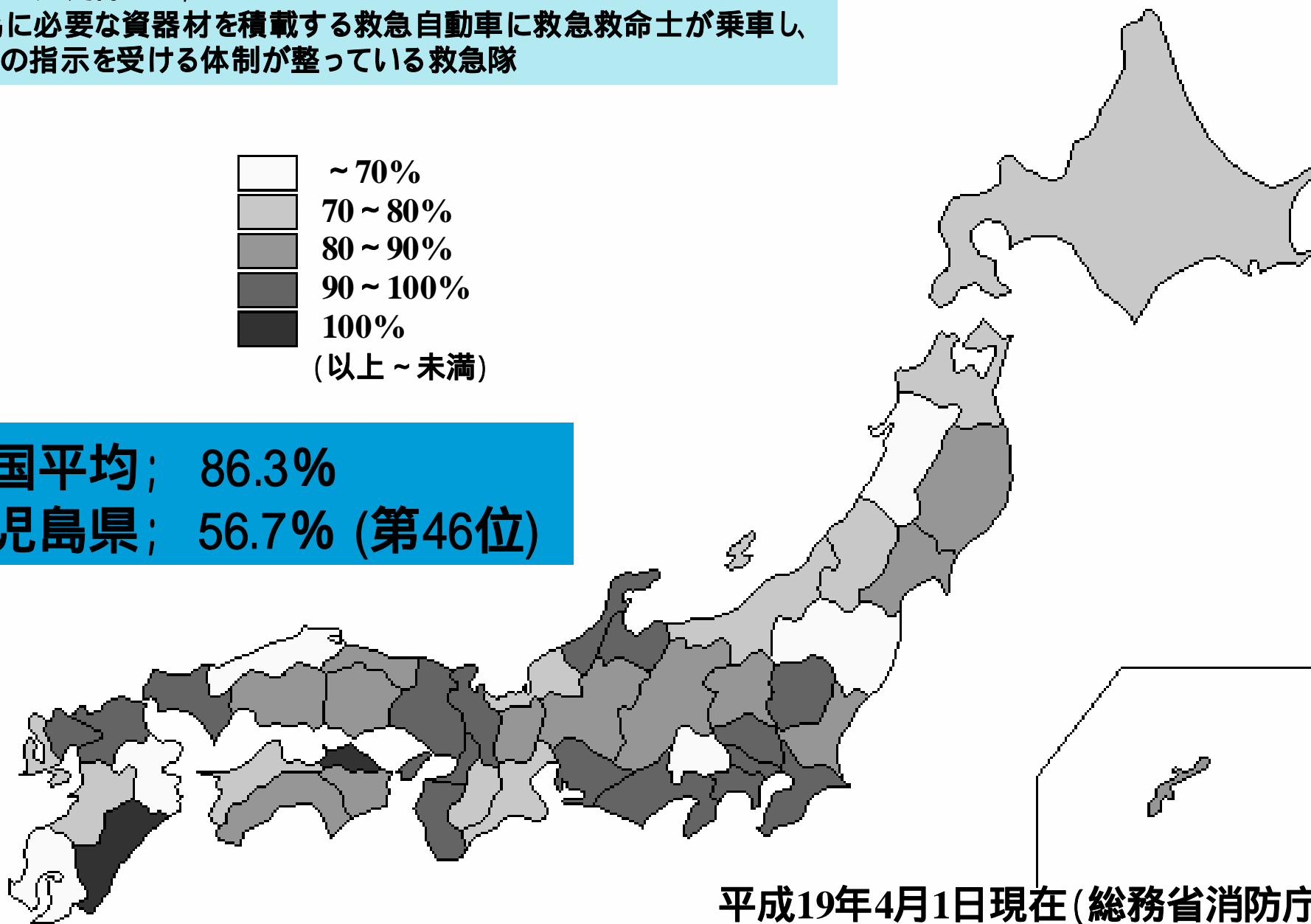
救急医療施設を増やすことは**少ない人的資源を分散**
することにつながり、**良い結果を招くとは限らない。**

救急隊のうち救急救命士運用隊の占める割合

救急救命士運用隊とは;
特定行為に必要な資器材を積載する救急自動車に救急救命士が乗車し、
医師からの指示を受ける体制が整っている救急隊



全国平均; 86.3%
鹿児島県; 56.7% (第46位)



平成19年4月1日現在 (総務省消防庁)

かつて救急先進県であった鹿児島！

- 全県的な心肺蘇生法の普及・啓発
「救急の日」を発信
- 消防職員と医療職との広範な交流
「顔の見える関係」の全国化の原型
- 鹿児島救急医学会救急隊員部会
都道府県単位初の救急隊員学術組織
メディカルコントロール組織の萌芽

鹿児島市における救急医療システム

消防局・救急車

< 119番 >

救急患者



一次救急医療 (一般的な疾病・けがに対応)

(診療時間内)
かかりつけの病院・診療所・薬局

歯科救急診療
(診療時間内)
かかりつけの病院・歯科診療所

(休日昼間)
口腔保健センター
(照国町13-15 県歯科医師会館内)
年末年始・日曜日・うら盆に対応
診療時間 9時~16時
☎223-0378

(全夜間)
歯科診療所輪番制
1医療機関
(年末年始・うら盆は2医療機関)
診療時間 (毎日) 18時~23時
電話案内 ☎222-0574

(休日昼間のみ)
休日在宅当番医制
年末年始・日曜日・うら盆に対応
診療時間 9時~18時

内科4、小児科1、外科2、整形外科1、皮膚科または泌尿器科1、産婦人科1、眼科1、耳鼻咽喉科1 (計8科12医療機関)
電話案内 鹿児島市保健所 ☎258-2323~5
市医師会 ☎225-1499

(全夜間)
夜間急病センター
(加治屋町3-10 市医師会館内)
内科・小児科
平日診療時間 夜間19時~翌朝7時
休日診療時間 夜間18時~翌朝7時
☎225-1499

(オンコール) 18時~23時
眼科 1医療機関
耳鼻咽喉科 1医療機関

(全夜間)
夜間救急薬局
(加治屋町3-6 市医師会館隣接)
平日診療時間 夜間19時~翌朝7時
休日診療時間 夜間18時~翌朝7時
☎239-8180

(全夜間)
全夜間輪番在宅医制
診療時間 18時~翌朝8時
外科系 1医療機関

(オンコール) 18時~翌朝8時
産婦人科 1医療機関
整形外科 1医療機関
皮膚泌尿器科 1医療機関

救急告示病院 37ヶ所
救急告示診療所 9ヶ所

(要請)
↓

(要請)
↓

二次救急医療 (24時間体制) (入院加療を要する重症患者に対応)

鹿児島市医師会病院 (共同利用型病院)
(鴨池新町7-1 ☎254-1125)
内科・小児科・外科・産婦人科・呼吸器科・消化器科・循環器科・神経内科・放射線科・麻酔科 (計10科)

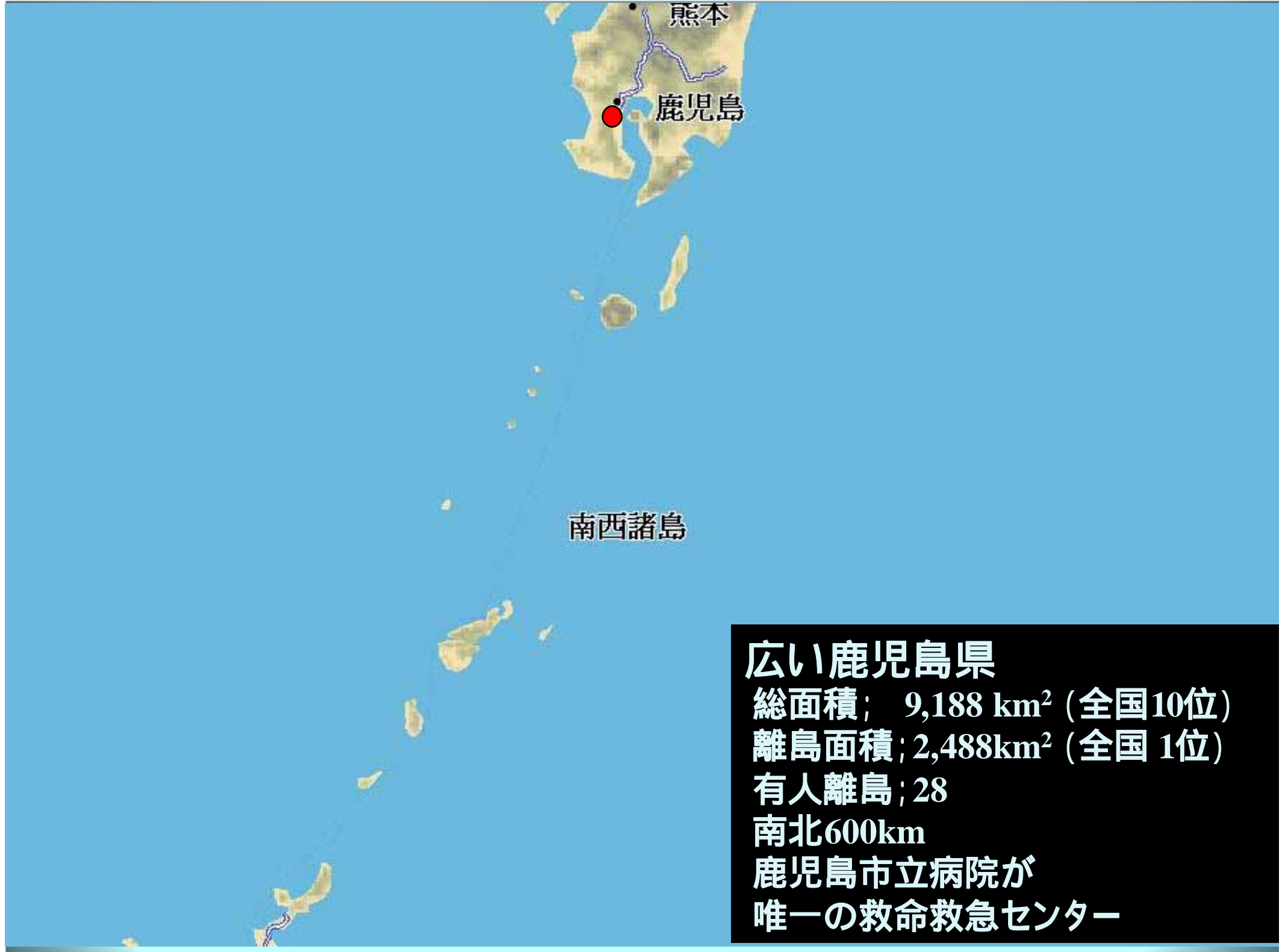
(要請)
↓

三次救急医療 (24時間体制) (頭部外傷・脳卒中・未熟児・心筋梗塞・重篤患者の対応)

鹿児島市立病院
救命救急センター
(加治屋町20-17 ☎224-2101)

鹿児島大学医学部
付属病院救急部
(桜ヶ丘8丁目35-1 ☎275-5111)

(医療機関によっては、)
2次救急まで対応可能
電話案内
鹿児島市保健所 ☎258-2323~5
市医師会 ☎225-1499



熊本

鹿児島

南西諸島

広い鹿児島県
総面積; 9,188 km² (全国10位)
離島面積; 2,488km² (全国 1位)
有人離島; 28
南北600km
鹿児島市立病院が
唯一の救命救急センター

ヘリ救急の役割分担

昼間
海上保安庁
Bell 412 EP (200km/600km)

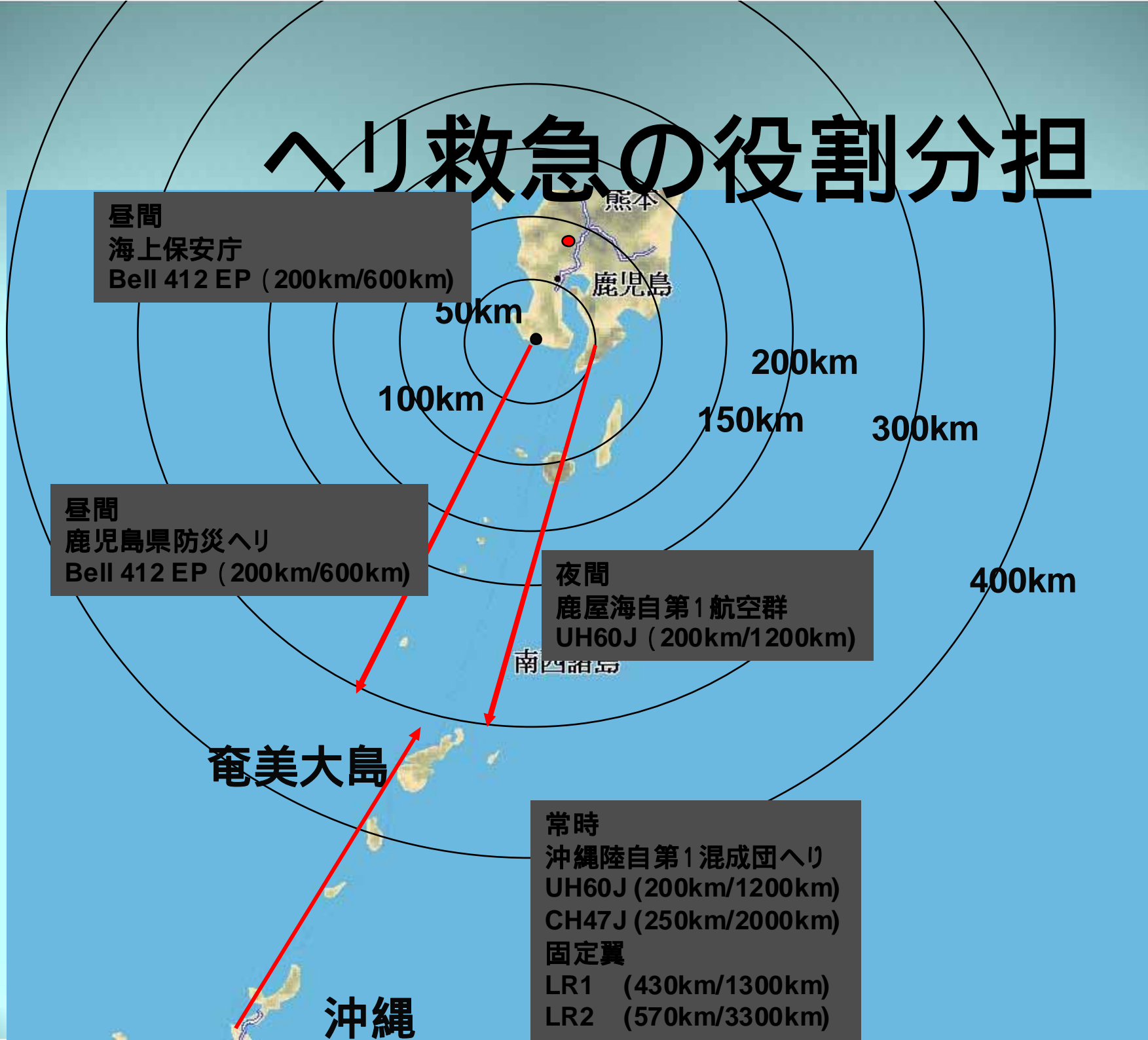
昼間
鹿児島県防災ヘリ
Bell 412 EP (200km/600km)

夜間
鹿屋海自第1航空群
UH60J (200km/1200km)

常時
沖縄陸自第1混成団ヘリ
UH60J (200km/1200km)
CH47J (250km/2000km)
固定翼
LR1 (430km/1300km)
LR2 (570km/3300km)

奄美大島

沖縄



今後の救急医療の対策と展望

天 : 本土間ドクタ・ヘリ

地 : ドクタ・カ、高規格救急車

人 : 顔の見える医療機関の
横の連携、連帯

救急救命士